

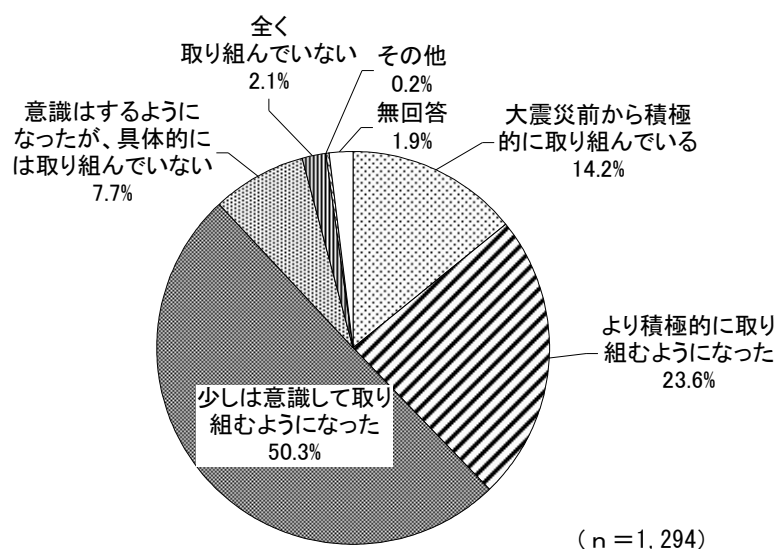
## 5 家庭における節電・省エネの取組について

### (1) 東日本大震災を契機とした節電・省エネの意識の変化

問17 あなたの家庭では、東日本大震災前と比較して、節電や省エネに取り組むようになりましたか。次の中から1つ選んでください。

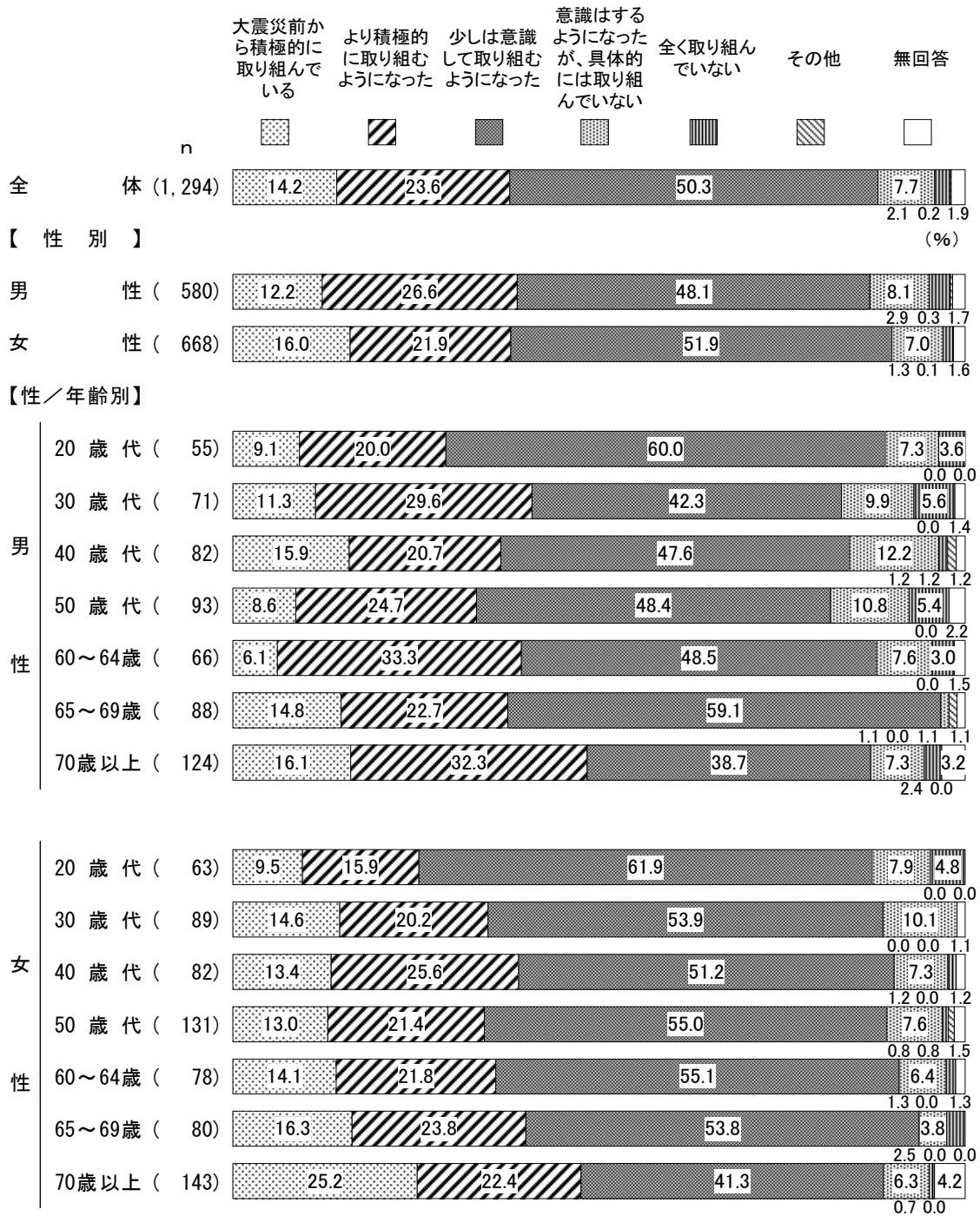
[n=1,294]

|   |                            |       |
|---|----------------------------|-------|
| 1 | 大震災前から積極的に取り組んでいる          | 14.2% |
| 2 | より積極的に取り組むようになった           | 23.6  |
| 3 | 少しは意識して取り組むようになった          | 50.3  |
| 4 | 意識はするようになったが、具体的には取り組んでいない | 7.7   |
| 5 | 全く取り組んでいない                 | 2.1   |
| 6 | その他                        | 0.2   |
|   | (無回答)                      | 1.9   |



全体で見ると、「少しは意識して取り組むようになった」(50.3%)が5割で最も高くなっている。「より積極的に取り組むようになった」(23.6%)は2割を超え、「大震災前から積極的に取り組んでいる」(14.2%)は1割半ばとなっている。

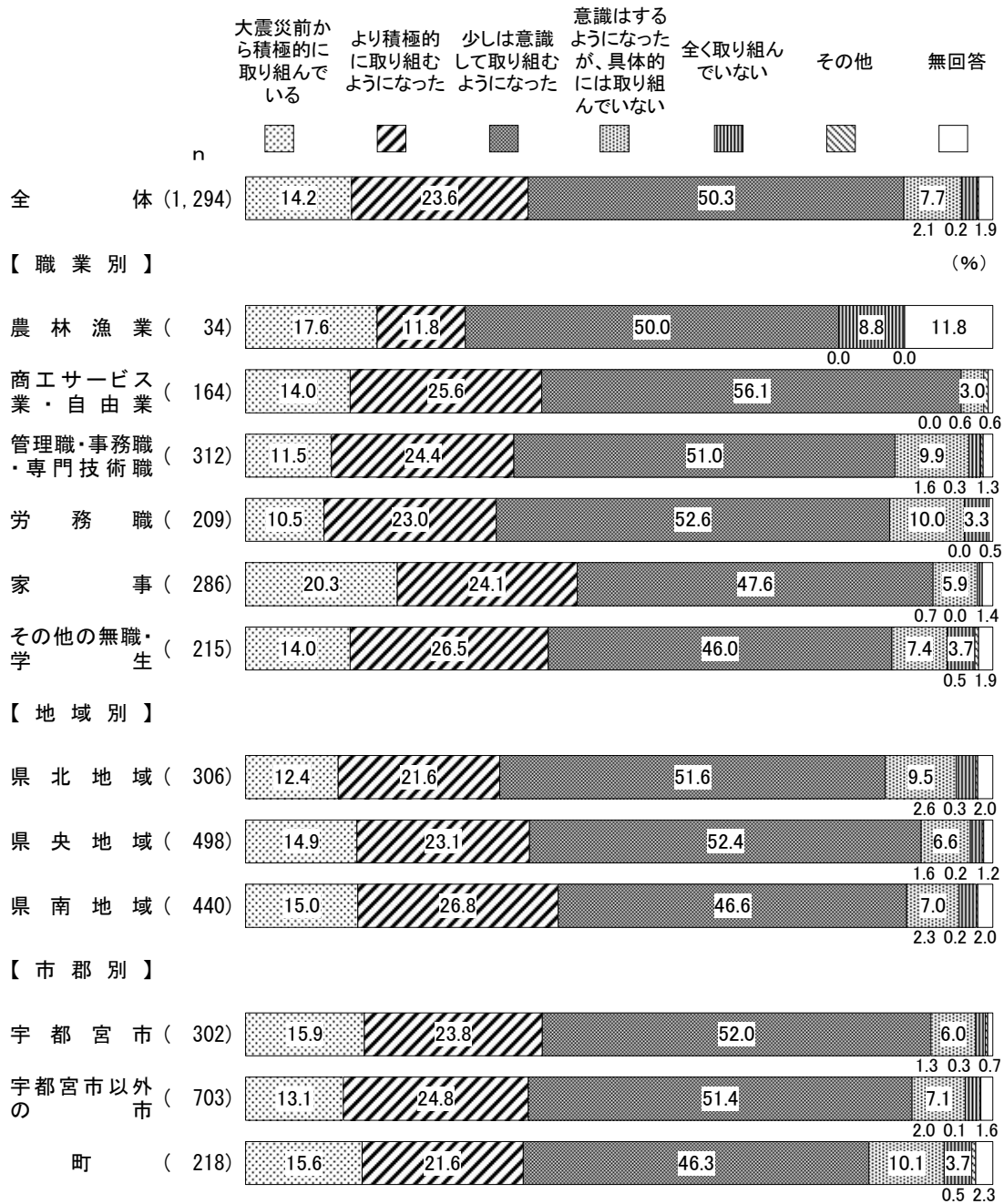
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「より積極的に取り組むようになった」では〈男性〉(26.6%)が〈女性〉(21.9%)より4.7ポイント高くなっている。「大震災前から積極的に取り組んでいる」では〈女性〉(16.0%)が〈男性〉(12.2%)より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「より積極的に取り組むようになった」では〈男性60~64歳〉が33.3%、〈男性70歳以上〉が32.3%と高くなっている。「大震災前から積極的に取り組んでいる」では〈女性70歳以上〉が25.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「大震災前から積極的に取り組んでいる」では〈家事〉が20.3%と高くなっている。

地域別でみると、「より積極的に取り組むようになった」では〈県南地域〉が26.8%と他の地域に比べて高くなっている。

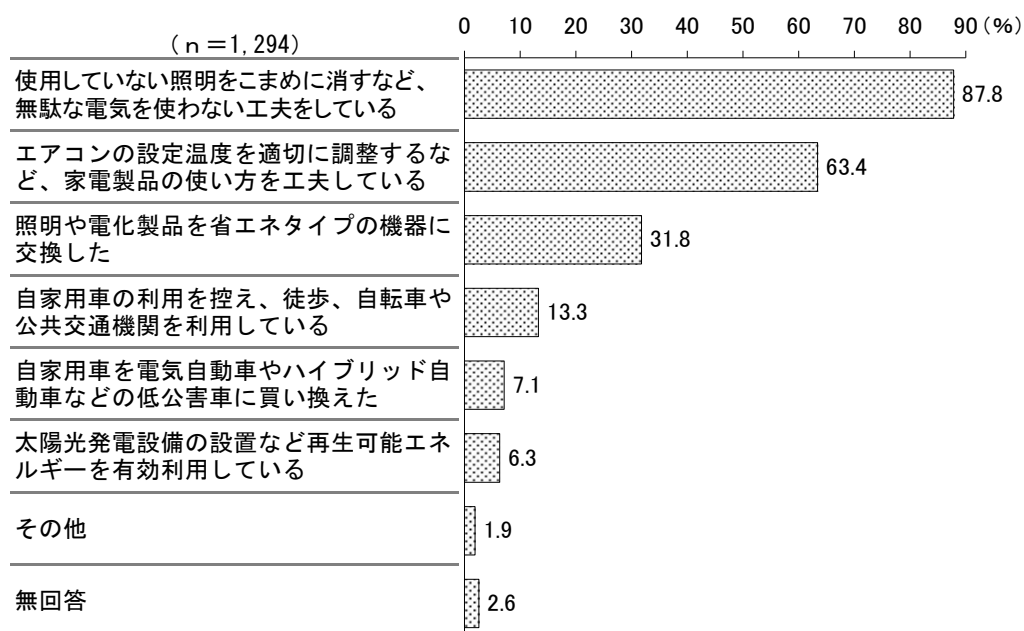
市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

## (2) 節電・省エネの取組状況

問18 あなたの家庭で取り組んでいる節電や省エネの取組について、次の中からいくつでも選んでください。

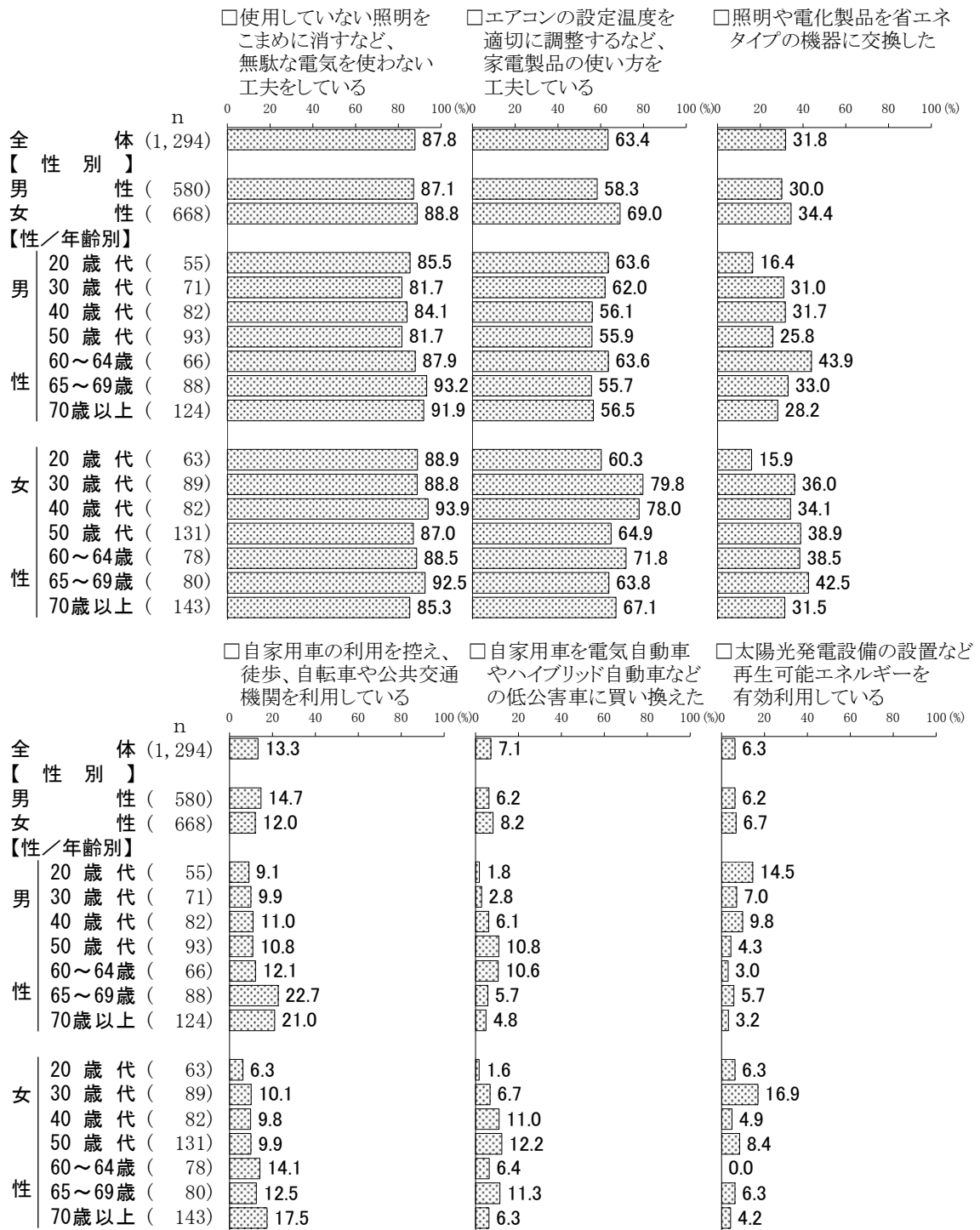
[n=1,294]

|   |                                      |      |
|---|--------------------------------------|------|
| 1 | エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している  | 63.4 |
| 2 | 使用していない照明をこまめに消すなど、無駄な電気を使わない工夫をしている | 87.8 |
| 3 | 照明や電化製品を省エネタイプの機器に交換した               | 31.8 |
| 4 | 太陽光発電設備の設置など再生可能エネルギーを有効利用している       | 6.3  |
| 5 | 自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関を利用している      | 13.3 |
| 6 | 自家用車を電気自動車やハイブリッド自動車などの低公害車に買い換えた    | 7.1  |
| 7 | その他                                  | 1.9  |
|   | (無回答)                                | 2.6  |



全体で見ると、「使用していない照明をこまめに消すなど、無駄な電気を使わない工夫をしている」(87.8%)が9割近くで最も高く、次いで「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」(63.4%)、「照明や電化製品を省エネタイプの機器に交換した」(31.8%)、「自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関を利用している」(13.3%)の順となっている。

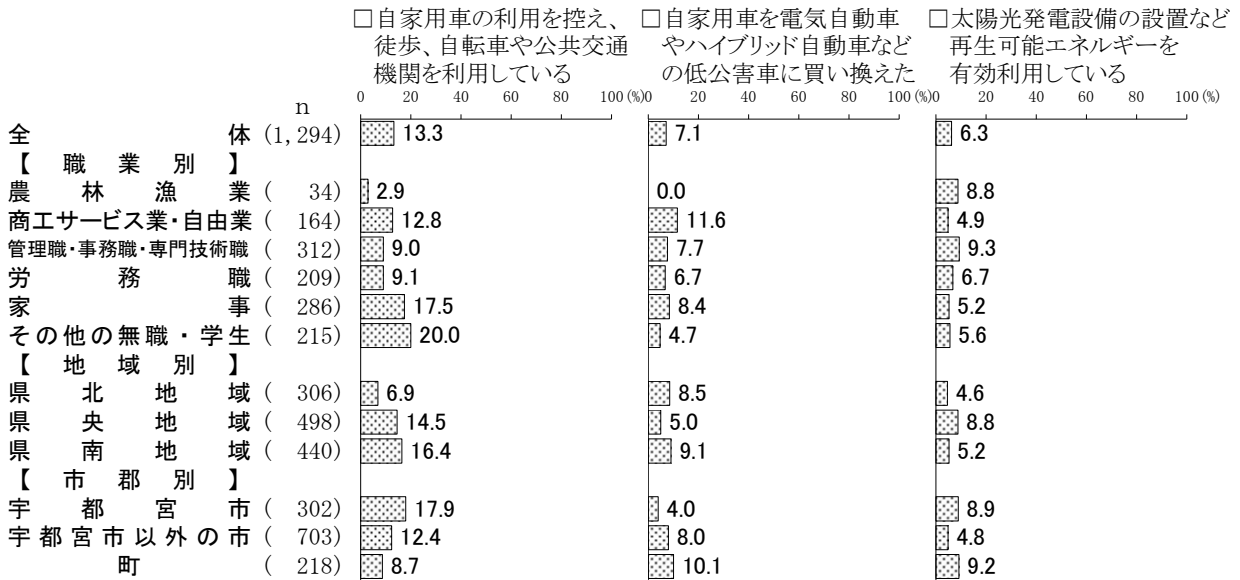
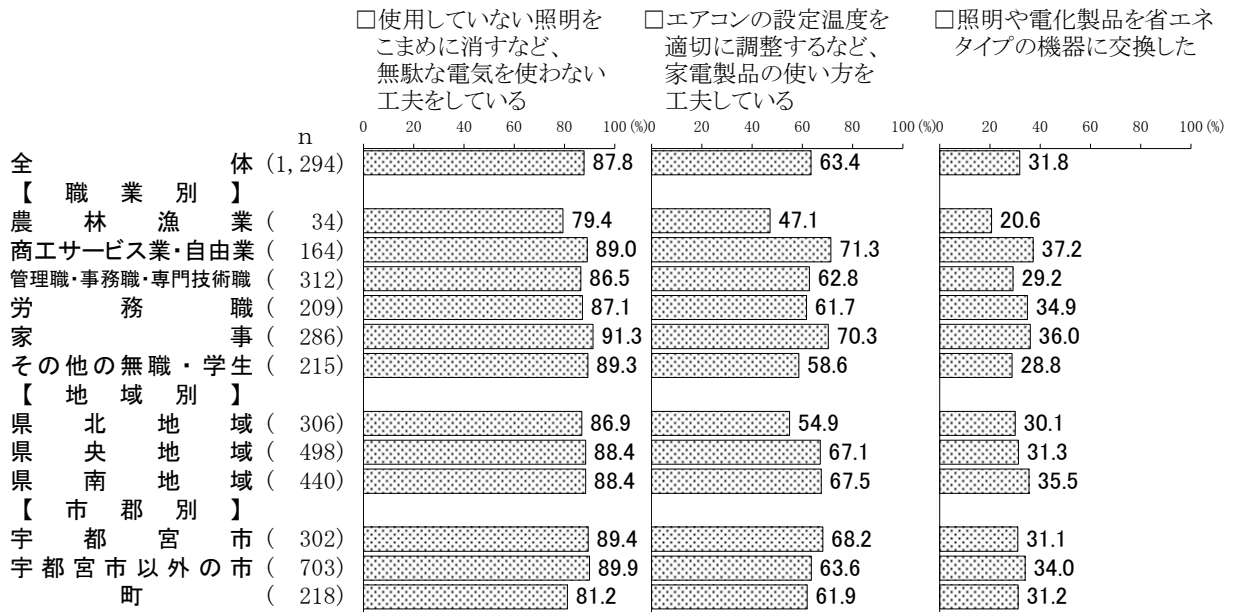
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」では〈女性〉(69.0%)が〈男性〉(58.3%)より10.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」では〈女性30歳代〉が79.8%、〈女性40歳代〉が78.0%と高くなっている。「照明や電化製品を省エネタイプの機器に交換した」では〈男性60~64歳〉が43.9%、〈女性65~69歳〉が42.5%と高くなっている。「自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関を利用している」では〈男性65~69歳〉が22.7%、〈男性70歳以上〉が21.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」では〈商工サービス業・自由業〉が71.3%、〈家事〉が70.3%と高くなっている。

地域別でみると、「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」では〈県南地域〉が67.5%、〈県央地域〉が67.1%と、〈県北地域〉に比べて高くなっている。

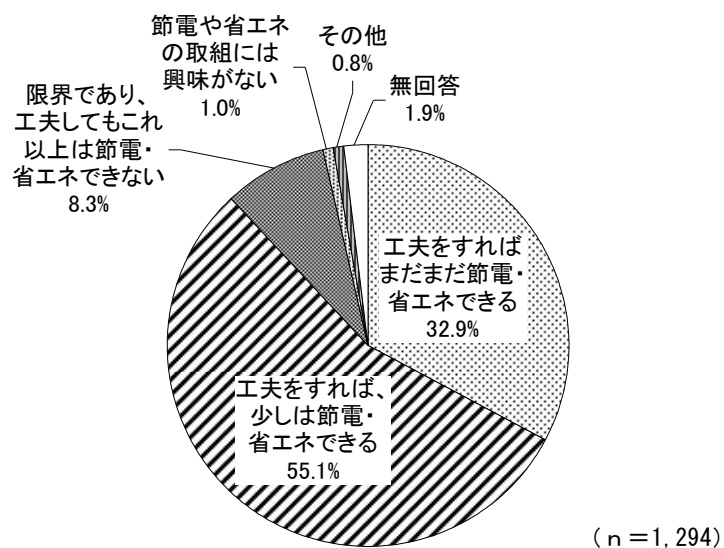
市郡別でみると、「エアコンの設定温度を適切に調整するなど、家電製品の使い方を工夫している」では〈宇都宮市〉が68.2%と〈宇都宮市以外の市〉や〈町〉に比べて高くなっている。

### (3) 今後のさらなる節電・省エネの取組に対する意識

問19 あなたの家庭における今後の節電や省エネの取組について、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

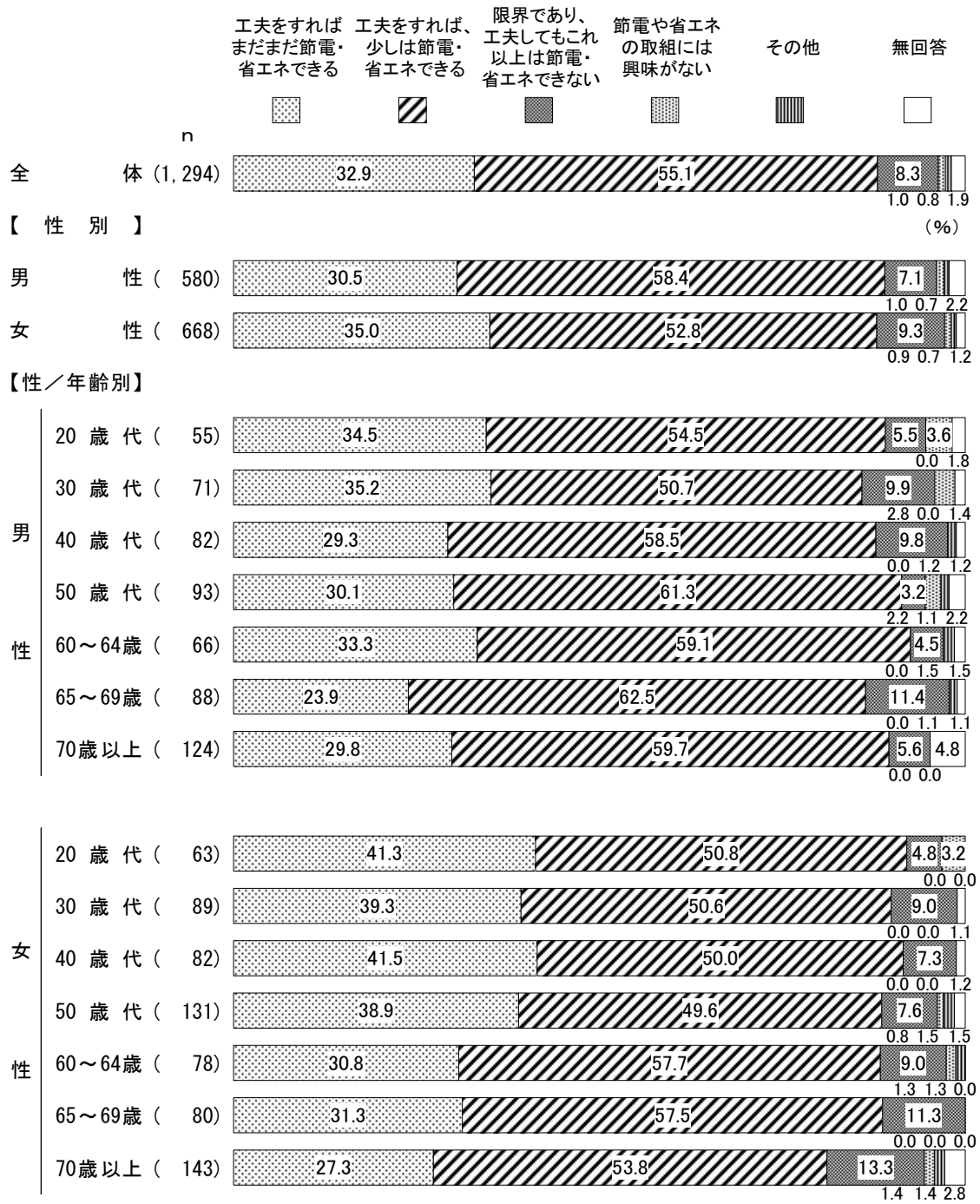
[n=1,294]

|   |                            |      |
|---|----------------------------|------|
| 1 | 工夫をすればまだまだ節電・省エネできる        | 32.9 |
| 2 | 工夫をすれば、少しは節電・省エネできる        | 55.1 |
| 3 | 限界であり、工夫してもこれ以上は節電・省エネできない | 8.3  |
| 4 | 節電や省エネの取組には興味がない           | 1.0  |
| 5 | その他                        | 0.8  |
|   | (無回答)                      | 1.9  |



全体で見ると、「工夫をすればまだまだ節電・省エネできる」(32.9%)は3割を超え、「工夫をすれば、少しは節電・省エネできる」(55.1%)は5割半ばとなっている。「限界であり、工夫してもこれ以上は節電・省エネできない」(8.3%)は1割近くである。

[性別・性／年齢別]

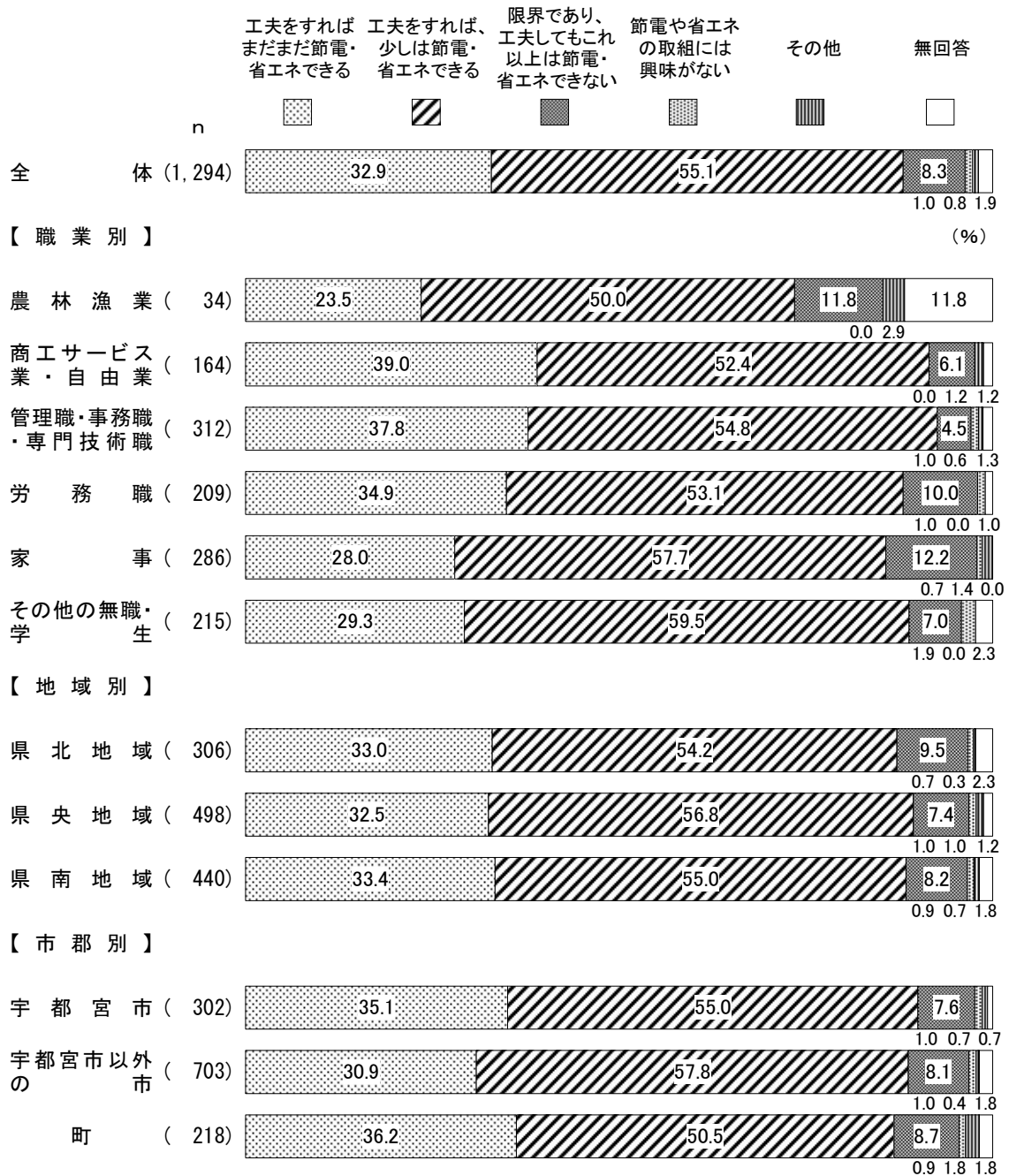


性別で見ると、「工夫をすればまだまだ節電・省エネできる」では〈女性〉(35.0%)が〈男性〉(30.5%)より4.5ポイント高くなっている。「工夫をすれば、少しは節電・省エネできる」では〈男性〉(58.4%)が〈女性〉(52.8%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「工夫をすればまだまだ節電・省エネできる」では〈女性40歳代〉が41.5%、〈女性20歳代〉が41.3%と、他の年代に比べて高くなっている。



[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「工夫をすればまだまだ節電・省エネできる」では〈商工サービス業・自由業〉が39.0%と、他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市郡別でみると、「工夫をすればまだまだ節電・省エネできる」では〈町〉が36.2%、〈宇都宮市〉が35.1%と〈宇都宮市以外の市〉に比べて高くなっている。